

## 第1回湖西市下水道事業経営戦略検討会 議事録

- 日時：令和3年（2021年）1月15日（金） 14：00～16：00
- 場所：湖西市浄化センター 2階会議室（事務局以外はZOOMによる参加）
- 出席委員等：
  - 菊地裕幸委員（委員長）、猪井英典委員（副委員長）、今瀬彰夫委員
  - 【全3委員、出席3委員、欠席0委員】
  - 湖西市：影山市長
  - 事務局：川上部長、片山課長、廣川課長代理、高田係長、大塚主任、日恵野主任

- 1 開会あいさつ
- 2 市長あいさつ
- 3 委員、事務局自己紹介
- 4 委員長及び副委員長の選出
- 5 委員長挨拶
- 6 議事内容

### 事務局より「議事事項（1）経営戦略・湖西市下水道事業の概要」の説明

#### 質疑①新居処理区の事業計画人口について

- ・資料P.5：まだ確定はしていないとのことだが、新居処理区の事業計画人口と令和元年度末処理区域内人口が近い値となっている要因は、ほぼ整備済みということか？<委員>
- 新居処理区については、整備が進んでおり人口減少を見込むと、整備を進めても処理区域内人口の伸びがあまり見込まれない予測となった。浜名湖処理区については、未整備地区も多く、処理区域内人口の増加が見込まれている。<事務局>

#### 質疑②経営戦略策定の事業範囲について

- ・資料P.1：本経営戦略は、大きく1つの公共の下水道事業で策定するという認識でよいか？<委員>
- 委員のご指摘のとおり、本市公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道を併せて公共下水道事業として策定する。<事務局>

### 事務局より「議事事項（2）現状分析（3.1.人口の推移から3.4.維持管理の状況）」の説明

#### 質疑①管渠の整備状況と有収水量について

- ・資料P.16：管渠の整備を行っているのに対し有収水量が伸びていない要因は、整備箇所整備区域内人口が少ないということか？<委員>
- 新居処理区で、多量の水を使う事業所（船を利用する事業のため、ため池を有する）の動向が影響している。H29年度は特に使用量が多く一時的に水量が増加している。また、近年は幹線を中心に管渠の整備を行っていることも、有収水量が伸びていない要因となっている。<事務局>

#### 質疑②水洗化人口について

・ P. 12 : H29 年度に水洗化人口が一旦減少した要因は？ <委員>

→H29 年度に水洗化人口の集計方法を変更したためである。従来の集計方法はマンション等をまとめて集計していたが、変更後は、人数ベースとした。 <事務局>

#### 質疑③維持管理費について

・ P. 17 : 人件費を総係費で見えるようになった要因は？ <委員>

→H30 年度より企業会計に移行になったのをきっかけに、維持管理費の人件費を計上するようになったためである。 <事務局>

### 事務局より「議事事項（3）現状分析（3.5.財務状況）」の説明

#### 質疑①経営指標について

・ 資料 P. 28～29 : H30 年度から経営状況が良くなった要因は？ <委員>

→経費回収率と汚水処理原価が向上した理由は、H30 年度から企業会計となり集計方法が変わったためである。具体的には、汚水処理費の算出方法が変わり、地方債償還費から減価償却費に変わったためである。 <事務局>

→分析結果に前述の理由の明記及び税抜・税込の記載もした方が良いのでは？ <委員>

→H29 年度までは税込、H30 年度以降は税抜である旨を注意書き等で示す。 <事務局>

→公営企業移行や、基準が変わったことで値が変更となる箇所については、市民にも分かりやすいように記載が必要である。 <委員>

### 事務局より「議事事項（4）課題の抽出・下水道事業経営の基本方針」の説明

#### 質疑①分析・基本方針について

・ SWOT 分析を用いた整理方法は妥当であると思うが、どれが一番重要であるかが分からない。下水道処理を担う上で、一番恐ろしいことは、「外部環境」だと思う。未処理のまま放流するような事態は必ず避ける、また、それに対する対応を計画的に取り組むことが最重要だと思う。 <委員>

・ 資本勘定職員の減少、技術力低下についても、計画的に取り組んでいくべきであると感じた。 <委員>

・ 水洗化率向上は収入に直接つながる。高齢化社会等であり難しい環境ではあるが、地道な努力が必要。 <委員>

・ SWOT 分析を用いた分析方法については、よくまとまっている。 <委員>

・ 資料 P. 35 : 「使用料収入の確保」が、P. 36 の基本方針の位置付けから抜けている。戦略の中に盛り込むべきである。 <委員>

・ SWOT 分析や基本方針については良いと思う。 <委員>

・ 湖西市下水道事業の将来ビジョンのようなものがあつた方がよいと思われる。そこから、バックキャストして、経営戦略策定期間である 10 年間どのような整理をしていかなければならないかを示した方がよいと思う。 <委員>

・ そもそも下水道事業が何のためにあるのか。市民に下水道事業のおかれた状況をしっかりと理解していただき、必要な協力をしてもらうことが重要。そのためには、市民に対して透明性や積

極的な広報、理解力の向上等も追記した方が良いと思う。そうすることで、湖西市独自の経営戦略となるのではないか。＜委員＞

#### 全体を通してご意見・ご質問

・事業を継続するためには、市民への理解が一番重要であるので盛り込むべき。また、それらを継続して市民へアピールすることで機会を設けることが大事である。＜委員＞

・経営戦略は誰のために作るのかという視点が大事。市全体、市民のためということを盛り込むことが大切である。＜委員＞

#### 7 閉会あいさつ

・第2回の日程は改めてお伝えする。＜事務局＞